

## 倉敷化工 株式会社 (2022年認定)

### 計画期間中の取組の概要

計画期間：令和2年4月1日～令和4年3月31日

業種：製造業

労働者数：873人（男性729人、女性144人）

計画期間の育児休業等の取得状況

育児休業取得率 女性 112%

育児休業及び育児目的休暇（※）取得率 男性 90%

※ 配偶者の出産休暇（出産日より1カ月以内に最大3日間有給で取得できる特別休暇）

### 主な取組内容

○次世代管理職育成のため、女性労働者も含めた管理監督者層（50名うち女性6名）に対し、階層別研修を令和2年7月20日から令和4年3月31日まで計32回実施。女性管理職割合は6.9%へ。

○有給休暇取得日数を13日/人にするを目標に、計画有給取得日数を年間8日から10日に引き上げた。その結果12.44日/人（令和元年度）から13.89日/人（令和3年度）にすることができた。



過去のくるみん認定実績  
1回（2011年）

### くるみん取得のきっかけ

弊社では現在、倉敷 vision2030 と称する経営方針のもと、様々な活動に取り組んでおります。その中の取り組みのひとつにダイバーシティの推進を掲げ、社員の多様性を認め、個性を生かし、働きやすく、また、働き甲斐のある企業となるべく企業活動を行っております。2011年くるみん認定取得から時間が経過してしまいましたが、改めて活動を見直したところ、ランクアップしたプラチナくるみんの取得が可能な状態にあるのではないかと気が付き、この度の申請・取得に至りました。取得のために特別な活動をしているという訳ではなく、積み重ねてきた様々な取り組みを社員が良く理解し、活用してきた結果として今回の認定取得に至ったと考えています。

### 認定マークをどのように活用したいか

採用活動に活かしたいと考えています。特に弊社は福利厚生を充実させており、採用活動においても学生の方へアピールしてきました。認定マークはその証明にもなり私たちの自信にもなります。また、社員への各種社内制度の周知徹底にも活用したいと思えます。

改めて、この認定取得を認識することで、社内制度への理解が深まり、更なる活用に繋げていきたいと思えます。



認定通知書交付式（令和4年10月21日）  
代表取締役社長 深野幸一様（左）と岡山労働局長（右）

### これから認定を目指す企業へのエール！

制度が出来ても業務が忙しくて制度を利用できないこともあると思います。弊社の場合は先輩が培ってきた企業の風土で、制度が利用できるように職場も協力してくれる雰囲気があるため、今回の認定を受けることが出来たと思います。

風土作りとなると長い年月が掛かりますが、まずは地道に一つずつ制度を定着させることが必要です。諦めずに環境や雰囲気が変われば認定に大きく近づくとおもいます。

弊社も認定継続に向けて活動して参りますので共にがんばりましょう。